新旧対照表

「感染症の予防及び感染症の	患者に対する医療に関する法律第	第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の	基準等について」	
改正後		現行		
(別紙)		(別紙)		
医師及び指定届出機関の管理者が都道所	F県知事に届け出る基準	医師及び指定届出機関の管理者が都道所	F県知事に届け出る基準	
第1~4(略)		第1~4(略)		
第5 四類感染症		第5 四類感染症		
1~35 (略)		1~35 (略)		
36 マラリア		36 マラリア		
(1)・(2) (略)		(1)・(2) (略)		
(3)届出基準		(3)届出基準		
ア〜ウ (略)		ア〜ウ (略)		
エ 感染症死亡疑い者の死体		エ 感染症死亡疑い者の死体		
医師は、(2)の臨床的特徴を有する死体	本を検案した結果、症状や所見	医師は、(2)の臨床的特徴を有する死体	本を検案した結果、症状や所見	
から、マラリアにより死亡したと疑われる場合	合には、法第12条第1項の規定	から、マラリアにより死亡したと疑われる場合	合には、法第12条第1項の規定	
による届出を直ちに行わなければならない。		による届出を直ちに行わなければならない。		
検査方法	検査材料	検査方法	検査材料	
顕微鏡下でのマラリア原虫の証明、かつ、	血液	顕微鏡下でのマラリア原虫の証明、かつ、	血液	
原虫種の確認による病原体の検出		原虫種の確認による病原体の検出		
核酸増幅法による病原体の遺伝子の検出		PCR法による病原体の遺伝子の検出		
(PCR 法・LAMP 法・その他)				
フローサイトメトリー法によるマラリア原虫感		(新設)		
<u>染赤血球の検出</u>				

37~44 (略)

37~44 (略)

第6 五類感染症

- 1 アメーバ赤痢
- $(1) \cdot (2)$ (略)
- (3)届出基準

ア (略)

イ 感染症死亡者の死体

医師は、(2)の臨床的特徴を有する死体を検案した結果、症状や所見か ら、アメーバ赤痢が疑われ、かつ、次の表の左欄に掲げる検査方法により、ア メーバ赤痢により死亡したと判断した場合には、法第12条第1項の規定によ メーバ赤痢により死亡したと判断した場合には、法第12条第1項の規定によ る届出を7日以内に行わなければならない。

この場合において、検査材料は、同欄に掲げる検査方法の区分ごとに、そ れぞれ同表の右欄に定めるもののいずれかを用いること。

検査方法	検査材料
顕微鏡下での病原体の検出	便、病変部(大腸粘膜組
ELISA法による病原体の抗原の検出	織、膿瘍液)
PCR法による病原体の遺伝子の検出	
イムノクロマト法による病原体の抗原の検	<u>便</u>
世	
抗体の検出	血清

 $2\sim20$ (略)

- 21 百日咳
- (1)~(3) (略)
- (4) 届出のために必要な検査所見

|--|

第6 五類感染症

- 1 アメーバ赤痢
- (1)・(2) (略)
- (3)届出基準

ア (略)

イ 感染症死亡者の死体

医師は、(2)の臨床的特徴を有する死体を検案した結果、症状や所見か ら、アメーバ赤痢が疑われ、かつ、次の表の左欄に掲げる検査方法により、ア る届出を7日以内に行わなければならない。

この場合において、検査材料は、同欄に掲げる検査方法の区分ごとに、そ れぞれ同表の右欄に定めるもののいずれかを用いること。

検査方法	検査材料
顕微鏡下での病原体の検出	便、病変部(大腸粘膜組
ELISA法による病原体の抗原の検出	織、膿瘍液)
PCR法による病原体の遺伝子の検出	
(新設)	
抗体の検出	血清

2~20 (略)

- 21 百日咳
- (1)~(3) (略)
- (4) 届出のために必要な検査所見

分離・同定による病原体の検出	鼻腔、咽頭、気管支などか
核酸増幅法による病原体の遺伝子の検出	ら採取された検体
(PCR法・LAMP法・その他)	
イムノクロマト法による病原体の抗原の検	鼻咽頭拭い液
出	
抗体の検出	血清
(ペア血清による抗体陽転又は抗体価の	
有意な上昇、又は単一血清で抗体価の高	
值)	

22~49 (略)

第7•第8(略)

別記様式1~3 (略)

別記様式4-1~35 (略)

7. TOR MALLINI MARCE

第7•第8(略)

22~49 (略)

別記様式1~3 (略)

別記様式4-1~35 (略)

別記様式4-36

所進府県知事 (保御	所設置市長・特別	区長)	₽-	
発度の予防なが無機関の	ARCHT MERCHT	ABRES I	・	M月ずる場合を含む)の
ELLU UFOESS				
_			報告年月日	940 # A E
_	財の氏名 東する機能・影響所の名	e-		_
-	POR DESCRIP			
_	計画型(NO)) -	
		enticupor	していない価値におっては、 その	00016-0-0018-0-5000
BON ORED LANGUE				-
6者 (現在所) ・無反じ 当記者が名。	3 11.91 4 31.43E	亡權机程與	 研究性死亡時しその形件。 お利用をの事業(の無は月報)。 	o minetes.
menetion -	R·全: 在	8 B		O Buordaga.
治部等例 。		23 G	B 1 9797	
			●話() -	
当然看得在地				-
(Barriera	to support of		●MA() -	
(America)	- september (ar., resultante	₩A() -	
Ø.	쬬.		新名英語・新名語・新名物・	
EBA, 2/8BA, 1089			新名原因・新名の数(有定・性を 数を表現・数・風を下がらの数を数	
- 別所 ・ 瀬本	- MARK - MMA - MARK - MAR	,	MR:	
- #250E - 515E	Fg: - 010	-	W在・直径の1 W在・直径に	OVER-OFFICER-S
- 10+00 / MOS . - 8-000 (,	Ι.	IS:	
		3.1	母子感染(乙酸内 不出數件	4.660 ·
- なし。 - 血液性の心臓性によ	No Mile Control		€øæ(
				1 -
	製による機能が施出子の特色 ・LAMPは、その様・		MERHAL (RE · NCE) .	
+		1	日本四个 (新名作用 田外 (田-	HEEPING .
・血液性のフローサー 物を作品はCMCS。	イトメトリー選によるマラ		INDENS REPORT INDENSEMATICAL	DATEMPE - L
			MARKER (1998年 年 月 日	· A 图 年 月 日
- その他の形法(###(2.	国外部の場合かれては 入国日	- (P740
85R (5.		
い絵本用日 設施 (映賞(※0) 年月日	910 X A	0	その個情報度の個人総の助止及び	出の様の色色のために、
	(AB 440 N N	8-	団種が北京と認める時代	
感染したと推定される中				
開発を指し(*) 発工年指出(R)	910 SE FI			

別記様式4-36

別期2種数4 - 3 6 /

マラリア発生局

都道府県知事(保健所設置市長·特別区長) 殿。

感染症の予防及が感染症の患者に対する医療に関する法律等 は高男 1 項(同高男の時において使用する場合を含む。)の規定により、以下のとおり駆け出る。。

_	Q.	92.				to MADRIEL MADRIES - MADRIES .
10. 11. 2 以 12. 計級方法	三日林、2/四日林、10 総形、40 年 ・発味 - 第章 - 19年 ・時間 - 34章 - 25年	映像体、5 1 を状・1 01C 。	(中)	. 07))	②新田田田・原知田(和北・村北)
10	106 F.RE				8.	ウ その他感覚症のまえ延の終止及び治路者の色素のために、 (2000年)と関してもの。
14	製紙 (株式(XO) 年月日	100			8.	
15	感染したと確定される年月日 Proper NO. (a)	111100				Washington States Co.
16	発病年/旧 (*)				B.	
17	現在年利日(X)	460		-	8.	LL

(6. 5. 15.10.14機能関係する番号等をで置め、4. 5. 19から、17機能年齢、年月日を記入すること。。 (四)機能、死亡者を検索した場合のお記入すること。(*)機は、急遽(強定制)を設明した場合のお記入すること。。 15. 12機は、関係するものすべてを認識すること。)。

別添様式4-37~44 (略)

15、14 機に、認当するものすべてを認動すること。) ベ

別添様式5-1

HIELD C	EDGLEN, FRTS	いとおり磨け出手。	-		MERRE 4	rio te	В	В.
		Diff.or.6				-		
		20年子を保証・ 上に発表・設定						
		根は新見(※)	CO COCI MARIA (III.)	- 5	_			
			(Alta - Brathlin)	(単していない意味)	あっては、そのか	N - 4668	9940	· 08
_								-
_		a organ valego. Angliet at Angli						
20.5	E CHECKY	CHARLET ANY CO.						
	2 12 34	a hamen-an	ORIZAD -					
	R + 2-	18 C	5/R) -					
_		g 2.		1.1 新金原因・5	SANCE - MERICA			٦.
	1) 開催アパ	/確 2) 開始5	アメーバ症・					٦.
4.			- 6985 -	OSSESSO MAN	器(確定・確定	F =		
ē.		EM - ESTELLE FEDER - BESSEN	ion .	1 (00)450 (0):	ARKANDER - TODA			
			其世紀是。	· GEORGIA (OC)	minument - eciti-		1.	
ž.:	· 8-68-0			2 DESIGN (A.S	152 HADDO (718	独談 イヌ	AND S	ž.
			3 /	140				
ŝ.	・競技によるの	Digitalistikasi. Hadindarikasi Hariba		3 £08 (1	
	((- Nonconstanting - Internation)					
g.		心病原用抗菌の地位		4				_
f b	H64 : (E · :	FREE CHARGES - DEVICES	t-eom.	-				- 11 a
8.	_	HERE & BOURDERS						
	183 : (T · 1			-				113
		D PORTECTE SOR	ORG Z PART					
		の PCM 2000 ようかのかり 大阪科学研究会・総合体の						113
	() .	CHEROLINE (NO				6
	· 血液医3-040	E-		1 3#30h (2 8h (数30分件 (R)・	新区期代		11 8
	- Toboxx) .	INBANK	100) .		113
	193. (*	50					
	888. C) .					- 11 :
1								-113
	加約年月日 (200年日本第200年) :		* A B					L
	(株) したと対定す							
	(*) 日月平和日	0.10	年 月 日					- 1

別添様式5-1

別記組式5 - 1-4 アメーバ 赤 痢 発 生 届 都道府県知事(保健所投置市長・特別区長) 泉-部分をの子的及び部分をの参考に対する理念に関する法律第12回第1項(同回第5項において専用する場合を含む。) の機 定により、以下の とおり届け出る。... 新香蕉月日 中旬 年 月 日 医増の氏念 従事する病院・動機所の総称 上記書院・協康所の所存職(※) **党基督(8)** (回媒稿・試験所に従事していない復帰にあっては、その個所・希話書等を記載) 1 BORE (HOSE) LT-ME (FER) (DARSE) あ機 (確定等) ・ 緊急変形と機の死年。 2 5 50. 男 · 文。 11 MARE - MARE - MARKE 体 22 1) 職管アメール技 (2) 職管外 アメール型・ 4. · Till 私金便 - しぶり間 ・砂路 ・契格 - お参数の内 の感染原因・感染体験 (確定・推定) ... - 100.00 · FREE FREE BEST 1 超四級級 (法的标识编码 -)以及: ·胸膜炎 · 心囊炎 - 光纖和解釋素於是 - その他 (2 竹町開除(A-55交 8日位の)(7.同時間 イ東5間 ウ. a #-mm (・満州による保証のの利比 ●68:使・大師以際認識・助成者・その他。 BURA MICよる機能を使用の検告。 ・特殊:便・大量は関係器・関係者・その後。 この種別はは難からプロ以内に行ってください ・映体が心理機の PCR 第三よる機関が進化子の映出。 16年: ほ・大田以外店園・飲成者・その後。 · 血清医性心积的。 CONTRACT MEET - MEET) - その他の方法 (1 日本国内(額別的県 市区町町の 888 C 2 0005 (8 **BB** 0 DARROW 6 UNKERP 980 F R 8-7 1899 (映像(10) 年月日 400 年 月 В. 8 通常したと検定される年月日 980 年 月 Β. 9 開講年月日 (*) 410 年 月 日 10 死亡年月日(10) 910 F A (1、2、4、5、11 個は試出する番号等をOで図る、3、6から 10 個は年齢、毎月日を記入すること。 (M) 機は、死亡者を検案した場合のみ配入すること。。 (*) 様は、連者(確定的)を診断した場合のみ配入すること。

- 4.5 根は、間当するものすべて多記れずること。) 。

別添様式5-21 別認権式 5-21-4 百 日 咳 発 生 屋 都進疗果如事(保健所设置市長·特別区長) 梟-原染度の子的及び原染度の患者に対する医療に関する医療に関する患性 (現底第5項において連用する場合を含む。) の確認により、以下のとおり開け来る。。 解集部月日 今和 年 月 日 従来する病院・加療所の名称 上記(株) · 国際所自然存績(II) **使体表现(X**) (民実際・部標所に従事していない理解にあっては、その提所・電話番号を記載) 1 108 0400 LAM (ER) (085) · A M CERTAIN · MARKETY MOREO 3 開発の事務(の情は用数) · 种种子类的 - 高髓点的形态 - 网络猫。 12 解别图 - 解别图 - 解别图 ・スタッカート ・ウーブ ・様社 CHIRRY MRIZE (NE: NE) 無明政策性 ・チアノード ・自由は取得を 1 家族性感染。 · 株成 - 森里 - 福建 (水田福泉市福田七七田) (東京) **保格 - 公務** ·多次使了 3 1 7700 * Brown C ・外間・同意による病原外の特別。 2. 法行动有差。 秋井: 内性スツブ・WENGぐい後・WE 幼稚園 ・草松 ・取除。 その後く ODER ON BUT REPORTED ・位置機関王による時件からの保護外達生子の他也。 の研究性性 (確定・確定)。 **計作:高度スツブ・経動なくい途・場内。** 1日本部内(新江内外 WISTOHY Ewit C G 1999 1 100. 1969/26 映画方法: KA法・LAM法・その他。 の百日せきお有ワクチン機構型。 ・金融機能は使用体からのイムノクロマト語による実際体制層の ワクチンの機関 OPT・DPT-IPV・不明) through (A B) 簡相年用日 0 m m 年 月 日 · 不明 結果(物性・協性) 制造会社人は 番号 1 / ・不明5 ・既体の機器。 既体の機器:既PT 1gG ・ その他: 2回日 年(か用・無・不明・ 結集:単一直体で低け級の本語・ ワクチンの機能 OPT・IPT-IPV・不等 既非备() HSMR (A 日) 開稿年月日 0 m m 年 月 日 · 不明 ベア血清で収集器の有理上昇・統計機関。 製造会技化は 番号 1 / ・不明 (B R BOS B R BOD BRINGS の回目 有 (55円・無・不明・ ワクチンの機関 OPF-IPV・不明 株色器 白田田 2008 機震力法: DiA・その会(陳柳年用 G = 4 年 月 日 · 不明 MEMORIAL 機関 1 / ・不明 中心物理研究的第三人 通知機能 有(歳・無・不明・ ワクチンの機能 OPI・DFI-(PV・不明) 999b. C HARRES (A B) -**開始年月日 0 ※3 年 月 日・不明** 助果 (\$656660 + 848 + 7 + 2780 · NEAR PLANT - NEW YORK (3.50000 その他:海外で成人用部日せき食物フクチン (New) の間 6 開始年月日 \$10 年 月 日 7 設計 (株実 (80) 年月日 410 年 月 日 機関があり場合。 # A B 開稿年月日 日本 年月 日・不明 (人間報用目 (人間割のみ) O 解除した EMRE 76 巻年月日 製造物の終り、4 機関 1 / ・不明的 10 NORTH (*) 中的 年 月 日 11 原企体用目(30) 980 K A B (1,2,4,5,12種は図出する番号準系ので囲み、3,5から 11種は年齢、年月日を記しすること。 (RI) 間は、指位側を映像した場合のAIEAできこと (*) 間は、患者(確定例) を診断した場合のみ記入すること。 4.5要は、関連するものすべてを記載すること。) *

別記様式5-22~24 (略)

別添様式5-2~20 (略)

別記様式6(略)

別添様式5-2~20 (略) 別添様式5-21

> 別認施式 5-21/ 百日咳発生属 都適府県知事(保健所設置市長・特別区長) 殿-原染をの子的及び原染をの患者に対する圧棄に関する法律第1 2点第 1項 (開展第6項において使用する場合を含む。) 新香蕉用日 金粒 年 月 日 田間の政長 近原する保証・設備所の名称 上記機関・防衛部の部位施(30) **生18番号(30)** (米保険・財務所に従事していない価値にあっては、その位所・最終書号を記載)。 1 200 08(0) L/6 (死(0) の数型。 ・食(1) (現実)(0) ・ 新発性形で (水(0)) つ 設計時の年齢(の株式月前) 悪・女・ 乗(が形) MINT FOR - DESCRIPTION - CODE 1.2 新原原因、新物面等、新杂榜样。 スタッカート・・ウーブ・「帰吐・ CHEROSTI - MONTO (NOT - NOT) . 無料の発作・チアノーゼ ・自血対象増生 1 2001/9504 研究・療学・指定(集団研究の報告もお称いします) 學典 · 公園 · 四階 · 確父學。 - その他(• 80m (分離・同定による病原外の相性。 2 流行の有意。 特殊:発揮スクブ・確認的ベル線・物成。 · 幼稚園 - 学校 - 聖後 • 80@ C その他(). MARIESE (月 日) 田東 (1949 - 1949) 様体が今の個際対象伝子の特性。 OSSEMA (BLE-MEE) . ##: ##227ブ・曜時から小使・時間 1 日本国内 (新秋の県 2 000 (00-その他(####報告(月 日) 根果(開始・提出) Districts 种类方面 [内) 第11条 () 400 第15 中部目せき会有ワクチン物理局。 BROWN. 既体の機関: 気付 166 ・ その他()。 1回日 東 (24的・毎・73時) COSTANIES OF OF USY THE **結果:第一曲者で取得番の名標**。 **解析性用 6 mm 年 月 日 ・不称** . STATE () MARKET (B C) ベア直接で開発係の有意上書 製造物はたま 事事(/ ・不勝) 2回目 有(かり・無・不明。 (8 R 8011 E R 800 PRIME 妖印傷 (1回日 108 ワクチンの機関 のけ・917-99・不明 機関方法! DA: その他(機構年月日 6 米米 年 月 日 ・不明 E-consciences c **86歳後日八一人衛型(** 2回日 有 (がり・無・不明。 888 C MARKER (A B). タクチンの機能 OFF-DET-IPV・不能 無相利日 0 × * 年 月 日 · 不明 製造的技术未養等(/ 不明) 造型開業 製 (製) 無 不明。 臨床決定: H倉間定列() との機能 6 初始年月日 40 年 月 日 ワクチンの機能 のけ・はけ・はい・不明 陳柳月日 G-wa 年 月 日 ·不明 7 REF OWN CHICAGO 910 年 月 8 製造的技化を書号(/ ・不明) の 入数年月日 (入数例のみ) A 440 8 8 その後 海外で成り間間間を乗者のひざい (1964) の間 O MALA LINE DISTANCE 0.60 10 知路年月日(*) 報知 年 月 日 機関がある場合。 11 見七年月日 (30) 410 # A B 随時月日 6 8 年 月 日 ·不明 製造会社人は番号(/ ・不明) (1.2.4.5.1) 根は国出する事情等もので摂み、3.6から11機は年級、年月日を記入すること。。 (四) 欄は、死亡する標案した確合のみ配入すること。

(x) 模は 本書 (後学報) 表別終した場合のAP3 すること。 4.5周世、姚宗するものすべてお記録すること。)

別記様式5-22~24 (略)

別記様式6(略)

36 マラリア

(1) 定義

マラリアは Plasmodium 属原虫の Plasmodium vivax(三日熱マラリア原虫)、Plasmodium falciparum(熱帯熱マラリア原虫)、Plasmodium malariae(四日熱マラリア原虫)、Plasmodium ovale(卵形マラリア原虫) などの単独又は混合感染に起因する疾患であり、特有の熱発作、貧血及び脾腫を主徴とする。ハマダラカによって媒介される。

(2) 臨床的特徵

最も多い症状は発熱と悪寒で、発熱の数日前から全身倦怠感や背部痛、食欲不振など不定の前駆症状を認めることがある。熱発は間隔をあけて発熱期と無熱期を繰り返す。発熱期は悪寒を伴って体温が上昇する悪寒期(1~2時間)と、悪寒がとれて熱感を覚える灼熱期(4~5時間)に分かれる。典型的には三日熱及び四日熱マラリアでは悪寒期に戦慄を伴うことが多い。

発熱期には頭痛、顔面紅潮や吐き気、関節痛などを伴う。その後に発汗・解熱し、無熱期へ移行する。発熱発作の間隔は虫種により異なり、三日熱と卵形マラリアで48時間、四日熱マラリアで72時間である。熱帯熱マラリアでは36~48時間、あるいは不規則となる。他の症状としては脾腫、貧血、血小板減少などがあげられるが、原虫種、血中原虫数及び患者の免疫状態によって異なる。

未治療の熱帯熱マラリアは急性の経過を示し、錯乱など中枢神経症状(マラリア脳症)、急性腎不全、重度の貧血、低血糖、DICや肺水腫を併発して発病数日以内に重症化し、致死的となる。

(3) 届出基準

ア 患者(確定例)

医師は、(2)の臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見からマラリアが疑われ、かつ、次の表の左欄に掲げる検査方法により、マラリア患者と診断した場合には、法第 12条第1項の規定による届出を直ちに行わなければならない。

この場合において、検査材料は、同欄に掲げる検査方法の区分ごとに、それぞれ同表の右欄に定めるもののいずれかを用いること。

イ 無症状病原体保有者

医師は、診察した者が(2)の臨床的特徴を呈していないが、次の表の左欄に掲げる検査 方法により、マラリアの無症状病原体保有者と診断した場合には、法第12条第1項の規定 による届出を直ちに行わなければならない。

この場合において、検査材料は、同欄に掲げる検査方法の区分ごとに、それぞれ同表の右欄に定めるもののいずれかを用いること。

ウ 感染症死亡者の死体

医師は、(2)の臨床的特徴を有する死体を検案した結果、症状や所見から、マラリアが 疑われ、かつ、次の表の左欄に掲げる検査方法により、マラリアにより死亡したと判断した 場合には、法第12条第1項の規定による届出を直ちに行わなければならない。

この場合において、検査材料は、同欄に掲げる検査方法の区分ごとに、それぞれ同表の右欄に定めるもののいずれかを用いること。

エ 感染症死亡疑い者の死体

医師は、(2)の臨床的特徴を有する死体を検案した結果、症状や所見から、マラリアにより死亡したと疑われる場合には、法第12条第1項の規定による届出を直ちに行わなければならない。

検査方法	検査材料
顕微鏡下でのマラリア原虫の証明、かつ、原虫種の確認による病 原体の検出	血液
核酸増幅法による病原体の遺伝子の検出 (PCR法・LAMP法・その他)	
フローサイトメトリー法によるマラリア原虫感染赤血球の検出	

第6 五類感染症

1 ア<u>メーバ赤痢</u>

(1) 定義

赤痢アメーバ(Entamoeba histolytica)の感染に起因する疾患で、消化器症状を主症状とするが、それ以外の臓器にも病変を形成する。

(2) 臨床的特徵

病型は腸管アメーバ症と腸管外アメーバ症に大別される。

ア 腸管アメーバ症

下痢、粘血便、しぶり腹、鼓腸、排便時の下腹部痛、不快感などの症状を伴う慢性腸管感染症であり、典型的にはイチゴゼリー状の粘血便を排泄するが、数日から数週間の間隔で増悪と寛解を繰り返すことが多い。潰瘍の好発部位は盲腸から上行結腸にかけてと、S字結腸から直腸にかけての大腸である。まれに肉芽腫性病変が形成されたり、潰瘍部が壊死性に穿孔したりすることもある。

イ 腸管外アメーバ症

多くは腸管部よりアメーバが血行性に転移することによるが、肝膿瘍が最も高頻度にみられる。成人男性に多い。高熱(38~40°C)、季肋部痛、吐き気、嘔吐、体重減少、寝汗、全身倦怠感などを伴う。膿瘍が破裂すると腹膜、胸膜や心外膜にも病変が形成される。その他、皮膚、脳や肺に膿瘍が形成されることがある。

(3) 届出基準

ア 患者(確定例)

医師は、(2)の臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見からアメーバ赤痢が 疑われ、かつ、次の表の左欄に掲げる検査方法により、アメーバ赤痢患者と診断した場合に は、法第12条第1項の規定による届出を7日以内に行わなければならない。

この場合において、検査材料は、同欄に掲げる検査方法の区分ごとに、それぞれ同表の右欄に定めるもののいずれかを用いること。

イ 感染症死亡者の死体

医師は、(2)の臨床的特徴を有する死体を検案した結果、症状や所見から、アメーバ赤痢が疑われ、かつ、次の表の左欄に掲げる検査方法により、アメーバ赤痢により死亡したと判断した場合には、法第12条第1項の規定による届出を7日以内に行わなければならない。この場合において、検査材料は、同欄に掲げる検査方法の区分ごとに、それぞれ同表の右欄に定めるもののいずれかを用いること。

検査方法	検査材料
顕微鏡下での病原体の検出	便、病変部(大腸粘膜組織、膿瘍液)
ELISA法による病原体の抗原の検出	
PCR法による病原体の遺伝子の検出	
イムノクロマト法による病原体の抗原の検出	便
抗体の検出	血清

2 1 百日咳

(1) 定義

Bordetella pertussisによって起こる急性の気道感染症である。

(2) 臨床的特徵

潜伏期は通常5~10日(最大3週間程度)であり、かぜ様症状で始まるが、次第に咳が著しくなり、百日咳特有の咳が出始める。乳児(特に新生児や乳児早期)ではまれに咳が先行しない場合がある。

典型的な臨床像は顔を真っ赤にしてコンコンと激しく発作性に咳込み (スタッカート)、最後にヒューと音を立てて息を吸う発作 (ウープ) となる。嘔吐や無呼吸発作 (チアノーゼの有無は問わない) を伴うことがある。血液所見としては白血球数増多が認められることがある。乳児 (特に新生児や乳児早期) では重症になり、肺炎、脳症を合併し、まれに致死的となることがある。

ワクチン既接種の小児や成人では典型的な症状がみられず、持続する咳が所見としてみられることも多い。

(3) 届出基準

ア 患者(確定例)

医師は、(2)の臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から百日咳が疑われ、かつ、(4)により、百日咳患者と診断した場合には、法第12条第1項の規定による届出を、7日以内に行わなければならない。ただし、検査確定例と接触があり、(2)の臨床的特徴を有する者については、必ずしも検査所見を必要としない。

イ 感染症死亡者の死体

医師は、(2)の臨床的特徴を有する死体を検案した結果、症状や所見から、百日咳が疑われ、かつ、(4)により、百日咳により死亡したと判断した場合には、法第12条第1項の規定による届出を、7日以内に行わなければならない。

(4) 届出のために必要な検査所見

出出 5 7 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	
検査方法	検査材料
分離・同定による病原体の検出	鼻腔、咽頭、気管支などか
核酸増幅法による病原体の遺伝子の検出	ら採取された検体
(PCR法・LAMP法・その他)	
イムノクロマト法による病原体の抗原の検出	鼻咽頭拭い液
抗体の検出	血清
(ペア血清による抗体陽転又は抗体価の有意な上昇、又は	
単一血清で抗体価の高値)	